

第41回
東北大学
学友会体育部

四賞並びに
学友会会長賞

- ◆選考団体 東北大学学友会体育部常任委員会
- ◆選考期日 令和5年1月23日 ◆式典期日 令和5年2月16日
- ◆於 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

第五十七回黒川杯

黒川杯は、第十代総長、黒川利雄先生のご発意に基づき昭和四十二年十二月に創設された団体賞。昨年二年間でもっとも活躍し、優秀な成績をおさめた体育部所属運動部に授与される。



人力飛行部

主な戦績

第44回鳥人間コンテスト2022
人力プロペラ機部門
優勝 (060808・80E)

受賞理由

読売テレビ放送株式会社主催の第44回鳥人間コンテスト人力プロペラ機部門において36.8kmのフライトを成し遂げて優勝した。東北大学人力飛行部は伝統ある強豪校として大会には出場していたものの、最後に優勝したのは2015年であり、以降記録を伸ばせずにいた。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり直近の2年は出場すら叶わなかった。しかし、本大会ではそういった苦難を乗り越え2008年に打ち立てたチーム最長飛行記録(36km)を更新し、大会史上初のフラットフォーム目までの旋回を成功させるなど華々しい結果を残した。こうした結果が東北大学の知名度向上に大きく貢献したことも踏まえ、黒川杯の受賞が決定した。

第四十一回志村杯

志村杯は、元学友会体育部長、志村憲助先生のご退官にあたって、先生のご発意に基づき、昭和五十七年に創設された団体賞。昨年二年間行事内容の充実した体育部所属運動部に授与される。



該当団体なし

第五十六回学友会長賞

学友会長賞は、昭和四十二年に、黒川杯の個人賞として創設された。四年間の成績が優秀と評価される当該年度卒部者に贈られる。



芝山 武志

アメリカンフットボール部

主な戦績

2022年全国日本アメリカンフットボール選手権ベスト4
2022年全国日本アメリカンフットボール選手権優秀選手賞
3年次
2021全国セレクトフレイヤー
2022東北リーグ優勝
2022東北リーグ最優秀選手賞
2年次 東北リーグベストイレブン
3年次 東北リーグベストイレブン

受賞理由

1年時からレギュラーとして公式戦に出場し、東北リーグで2、3年時にベストイレブン、4年時にはチームの優勝とともに最優秀選手賞を受賞した。また、全国各地区1位の8大学が出場する全日本アメリカンフットボール選手権では昨年の全国セレクトフレイヤーに続き、今年は優秀選手賞に輝きチームのベスト4に貢献した。さらに、以上の成績だけでなく2年時にはポジションリーダー、3年時に副将、4年時に主将を勤め、フィールド内外で部に大きく貢献したことから彼を学友会長賞に決定した。



柴田 和樹

トライアスロン部

主な戦績

2022年全国日本学生トライアスロン選手権 個人5位
2019 初出場
2020 男子個人116位
2021 男子個人30位
第26回日16位
第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体男子個人10位

受賞理由

入部当初から才能を発揮し、日本学生トライアスロン選手権に当時一年生ながら出場した。その後インカに毎年出場し、4年次には個人5位という快挙を成し遂げた。また、2年次には日本最高峰のトライアスロン大会である、日本選手権で16位という上位の成績を残している。日本選手権におけるこの成績は東北大トライアスロン部史上最高の順位である。柴田選手は3種目どれもとても強者であるが、中でも特にスイムが強く、部員のスイム力向上に尽力してきた。東北大トライアスロン部のエースとして4年間チームを牽引し続け、多くの優秀な成績を残した。以上の理由で学友会長賞に決定した。



山本 哲聖

競技舞踏部

主な戦績

第61回全日本学生競技ダンス選手権大会 4年次 スタンドアードの部第6位
第67回全日本学生競技ダンス選手権大会4年次スタンダードの部ワルツ優勝フロアクイーン賞
3年次 スローフォックスソロット第4位
2022年度東西対抗学生競技ダンス選手権大会4年次スタンダードワルツ4位 タンゴ1位

受賞理由

大学入学後から競技を始めた一人は3年時に4年生を押しつけ全国大会4位、東北ブロック1位を獲得した。また、4年時には第61回全日本学生競技ダンス選手権大会でのファイナル進出、2022年度東西対抗学生競技ダンス選手権大会でのワルツ4位、タンゴ優勝に加え、第67回全日本学生競技ダンス選手権大会では全国優勝経験のあるカップルに勝って優勝してフロアクイーンを獲得した。以上の卓越した成績だけでなく後輩への精力的な指導も行なっていることから学友会長賞に決定した。

星野 佳乃葉

競技舞踏部

第四十四回鈴木賞受賞者



鈴木賞受賞
野村明日香

漕艇部

主な戦績

東日本選手権大会シングル総合3位
第70回東日本選手権競漕大会 優勝
第49回全日本大学選手権大会
女子ダブル2位

受賞理由

大学からボートを始めたいわゆる「初心者」であるが、総歴が半年も満たないうちに、東日本選手権大会シングル総合3位を獲得、第70回東日本選手権競漕大会では優勝、また今年度の9月に行われた第49回全日本大学選手権大会では女子ダブルで2位を獲得した。また、以上の成績に加え日々医学の勉強に励みながら、練習にひたむきに取り組んでいることから鈴木賞の受賞が決定した。



鈴木賞受賞
神部虎太郎

準硬式野球部

主な戦績

東北地区大学準硬式野球
令和4年度秋季1部リーグ戦 出場
ベストナインと盗塁王を獲得東北地区選抜と東日本代表に選出
9ブロック対抗準硬式野球大会 出場
全日本準硬式野球東西対抗日本一決定戦 出場

受賞理由

東北地区大学準硬式野球令和4年度秋季1部リーグ戦に主力として出場し、ベストナインと盗塁王の2つのタイトルを獲得した。また、彼が主将として練習方法を刷新したことで春季リーグ優勝に勝利し、昨年度の最下位から今年度は3位に順位を大きく上げた。さらに、その高い実力から東北地区選抜と東日本代表にも選ばれており、各地区の代表による大会である9ブロック対抗準硬式野球大会ではスタメンとして出場し安打を放つなど活躍、準硬式野球史上初めて甲子園開催という点で意義のある大会であった全日本準硬式野球東西対抗日本一決定戦にも出場した。そして、これらの豊富な代表経験を部に還元することで勝てるチーム作りに尽力している。以上の優れた個人成績と部への高い貢献度より更なる今後の活躍を期待し、鈴木賞の受賞が決定した。

第三十五回大谷賞

受賞部



大谷賞受賞
剣道部（男子）



大谷賞受賞
バスケットボール部（女子）



大谷賞受賞
フェンシング部



大谷賞受賞
馬術部

大谷賞は第二十七回国立七大学総合体育大会の贈号優勝を記念して、元総長大谷茂盛先生のご発意に基づき昭和六十二年に創設された。国立七大学総合体育大会において、優勝した部に贈られる。

鈴木賞は元学友会応援団長鈴木雅洲部長のご発意に基づき昭和五十三年に創設された個人賞。成績優秀な二年生に贈られ、これからも活躍してほしいという期待がこめられている。